

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ たまプラーザ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小林 歩	定員（利用人数）： 60名（利用人数：39）名
所在地：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-16 Wisteria Light 1・2F	
TEL：045-901-4141	ホームページ： <a href="http://www.gkids.co.jp">http://www.gkids.co.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1名 栄養士 1名
	保育士 17名 調理師 2名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室：6 園庭：有
	トイレ：6
	沐浴室：1
	調理室：厨房1
	事務室：1
	調乳室：1

③ 理念・基本方針

【企業理念】

子ども達の未来のために

【保育理念】

豊かに「生きる力」を育てる

【保育目標】

- 1.笑顔で挨拶、元気にあそぶ
- 2.明るく素直な子ども
- 3.一所懸命楽しいことをする子ども

【保育方針】

- 1.どんな場面でもあいさつを忘れず、年齢に合わせた玩具や環境の中で、のびのびと遊べるよう保育をする
- 2.子どもの気持ちを包む大きな心を持ち、一人ひとりをしっかり受け止め、本来の姿を引き出す

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

東急田園都市線「たまプラーザ」駅から徒歩5分の位置にあり、商店街を抜けた先の住宅街に囲まれた場所に園があります。園の近くには、系列園をはじめ、多くの保育園があり、年長児を中心に交流が盛んです。また、緑豊かな公園がたくさんあり、自然環境にも恵まれています。園庭もありますが、天気の良い日はその日の状況に応じ散歩先を決め、身体をのびのびと動かしています。散歩へは異年齢で行くこともあり、年上の児が交通ルールや公園での約束事などを年下の児に教えることもあります。

【食育活動の実施】毎年年長児を中心に「たまプラーザ」を育てています。また、野菜の栽培をし、収穫した野菜をピザなどのクッキングの材料に利用したり、スタンプ遊びをしています。日本の伝統行事食を知らせたり、食事のマナーなどを指導しています。3月には年長児が中心となり、カレーライス作りに挑戦します。

【安全への取組】毎月の避難訓練に加え、ヒヤリハット報告会、危険予知トレーニングを実施しています。危険予知トレーニングは、「こどもあんぜんマイスター」の取得に向け研修を重ねています。

【委員会活動】「図書、美化、食育、震災対策、事故防止安全」という5委員会が職員によって構成され、日々の保育に還元できる活動を行っています。それぞれの活動内容は定期的に保護者の皆さまにお知らせしています。

【園内研修】毎月、職員のコミュニケーションを深めるために、保育で使える遊びや環境について話し合ったり、保健的活動（嘔吐処理方法等）、救命救急訓練など多岐にわたって研修を行っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日） ～ 令和6年1月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2020年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)さまざまな取組や積極的な研修受講等により、安全確保に力をいれています  
園では、ヒヤリハット報告会、危険予知トレーニングを実施しています。事前に物事を予知して安全に繋げるための危険予知トレーニングや、日々の保育の中で、子どもを抱えている時は足元が死角になるので、転倒、怪我の連鎖を防ぐために足元の整理は大切など、ヒヤリハットを探しに行く意識を持ち、様々な状況での対応スキルを身につけています。園ではこの事を生かし、外部企業主催の「こどもあんぜんマイスター」研修に参加し、資格を取得した職員が数名おり、安全に関する取組に注力しています。

2)職員の能力・意識向上に取り組み、良い保育環境につなげています  
毎月の職員会議の前に、「ニコちゃんタイム」として園やプライベートのニコニコした出来事や悩み事を付箋に書いて周知し、職員会議で具体的に発表しています。個々の思いや気付きを再確認できると同時に自身に照らし合わせ、振り返りができる機会になっています。発表後は必ず拍手で終わることと決めています。日頃の出来事を通して職員間での会話を広げ、ポジティブになることで、良い保育環境作りにも繋がっており、職員間でのコミュニケーションも良好となっています。

3)職員主体の委員会活動を実施し、保育の質の向上に取り組んでいます

園では「美化委員会」「図書委員会」「事故防止委員会」「食育委員会」「震災対策委員会」などの職員主体の委員会があり、クラスを超えて活動をしています。活動内容は玄関にある大きなホワイトボードにそれぞれの取組を記載して、保護者に知らせています。この活動を通じて職員自身も経験年数に関わらずコミュニケーションを深めています。さらに担当クラス以外の保育にも触れることで、自身のスキルアップにもなり、園全体のサービスの向上に繋がっています。

#### 4)働きやすい就業形態をとり、職員の希望を反映させています

シフトは、変形労働時間制で職員の希望を考慮しながら、月単位の労働時間を調整しています。園長は就業状況の変化に柔軟に対応できるように、定期的な面談、コミュニケーションをとり、職員の身体的、精神的な状況を汲んでシフトに生かせるように心がけています。また、短時間勤務に対応した社員制度を用意して、無理なく保育に取り組めるよう職員のライフワークバランスに配慮して、職員の意欲の向上、定着にもつなげています。

#### 5)実習生、ボランティア受け入れの体制と実施が期待されます

実習生やボランティア等の受け入れマニュアルを整備し、法人が窓口となり受け入れ体制を整えています。ただ、コロナ禍で実習生やボランティア、職場体験などがありませんでした。現在は、感染症対応が緩和され、受け入れもしやすくなってきています。実習生等の受け入れは、福祉人材を育成するうえでの保育所の社会的責務の一部であり、子どもたちが園以外の大人と触れ合う機会にもなっています。今後を見通して実習生、ボランティア受け入れの意義、手順などマニュアルの再確認とともに受け入れの推進を期待します。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園9年目を迎え、3回目の第三者評価の受審となりました。  
ここ数年、子どもたちを取り囲む環境は大きく変化をし、保育の中で最も大切な「人と人が触れ合うこと」が思うようにできず、試行錯誤の日々を過ごしてまいりました。その中でも職員が工夫をしながら常に課題に前向きに取り組み、コミュニケーションを深める保育を大切にしてきたことをご理解いただき、嬉しく思います。  
来年は開園10周年という節目の年を迎えます。今後も子育てにかかわるすべての人々と子どもたちを中心とした主体的な保育を運営してまいりたいと思います。また、保育者の人材育成や地域との連携をさらに深め、安心してご利用いただける保育園を目指します。  
今回の第三者評価受審に際し、利用者アンケートにご協力いただいた保護者の皆さま、さまざまな気づきや振り返りきっかけをくださった評価機関のみなさま、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり